

津久井やまゆり園事件
この悲しみを力に、
ともに生きる社会を実現します

平成28年7月26日、障害者支援施設である
県立「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。
このような事件が二度と繰り返されないよう、
私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、
ともに生きる社会の実現をめざし、
ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。



ともに生きる社会

かながわ憲章

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、
すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく、
暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げる
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、
県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県



翔子

題字「ともに生きる」
ともに生きる社会かながわ応援大使
かながわ しょうこ
書家・金澤 翔子さん

平成28年7月26日、県立の障害者支援施設「津久井やまゆり園」。「意思疎通のできない人間は生きている意味がない」とのでたらめな考えから、元職員が19人のいのちを奪ったあの凄惨な「津久井やまゆり園事件」から10年が経ちました。あの時、現場で感じた胸が締め付けられるような息苦しさを、私は今も忘れることができません。しかし、事件そのものを知らない世代も増えてきました。

我々は事件を風化させてはならないとの思いで、「ともに生きる社会かながわ憲章」「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」を制定し、また、本年4月に

は福祉を科学する「地方独立行政法人神奈川県立福祉機構」を設立しました。悲惨な事件の経験をバネに、県はこれからも全力で福祉最先進県を目指し続けてまいります。

7月20日から26日は「ともに生きる社会かながわ推進週間」です。改めて、皆さんと共に原点に立ち戻り、共生社会の実現に向けての思いを共有したいと思います。



神奈川県知事 山崎 祐治



津久井やまゆり園事件から10年

「ともいき」の軌跡、未来への架け橋へ

今年は、事件から10年の節目になります。あの悲惨な事件が二度と繰り返されないよう、県は「ともに生きる社会かながわ憲章」や「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」を制定し、強い思いで共生社会の実現に向けて取り組んできました。この「ともいき」の理念が広がるよう、県が歩んできた軌跡を紹介します。



県の「ともに生きる」の歩み

2016 平成28年

7月26日 「津久井やまゆり園事件」発生

障害者支援施設である県立津久井やまゆり園において、19人のかけがえのないのちが奪われる大変痛ましい事件が発生しました。この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、障がい者やその家族のみならず、多くの方々に、衝撃と不安を与えました。



9月23日 「全面的建て替え」の方針を決定

10月14日 「ともに生きる社会かながわ憲章」策定

事件が二度と繰り返されないよう、障がいの有無にかかわらず、全ての県民が人間としての尊厳を保ちながら暮らせる共生社会の実現を目指し、県と県議会が共に策定しました。

2017 平成29年

1月27日 「全面的建て替え」の方針を撤回

7月24日 「ともに生きる社会かながわ推進週間」制定

10月14日 「津久井やまゆり園再生基本構想」策定

従来の「大規模・隔離型」の施設運営から、障がい者が地域社会の中で自立して暮らす小規模運営の方針に決定しました。「意思決定支援」「安心して安全に生活できる場の確保」「地域生活移行の促進」を柱に再生基本構想を取りまとめました。

2018 平成30年

3月17日・18日 憲章の理念を広めるイベント「みんなあつまれ」開催

音楽やスポーツ、アートなどを通じて、多くの方々に憲章の理念を知ってもらおうきっかけとなりました。

意思決定支援の取り組みが始まる

自らの意思が反映された生活を送ることができるよう、障がい当事者の方々から要望書を受領するなど対話を重ねました。

2020 令和2年

4月

「農福連携マッチング等支援事業」開始

農家と障害福祉サービス事業所等とのマッチングを進め、障がい者の新規就労につなげる取り組みを始めました。



7月8日

「障害者支援施設における利用者目線の支援推進検討部会」を設置

2021 令和3年

7月4日 津久井やまゆり園新園舎完成 8月から利用者の受け入れ再開



11月16日 芹が谷やまゆり園新園舎完成 12月から利用者の受け入れ開始

2023 令和5年

4月1日

「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」施行

障がい者一人一人の心の声に耳を傾け、本人の立場に立った支援をすることが、障がいのある人だけではなく、周りにいる人たちがみんなが幸せに生活できる「当事者目線の障害福祉」になると考え、条例を制定しました。

7月13日

「ともに生きる社会かながわ応援大使」に書家・金澤 翔子さんを任命

12月27日

「ともいきシネマ」開催

医療的ケアが必要な方など、誰もが一緒に映画館などで映画を楽しめる「ともいきシネマ」がスタート。この取り組みを通じ、初めて映画鑑賞ができた方もいました。



2024 令和6年

11月15日～24日

「第1回かながわともいきアート展」開催



わたなべ まり 渡邊 真理さん(ちから) かながわ地方創生SDGs賞

2025 令和7年

5月13日

「ともいきマイスター」に脳性まひと闘うプロバイオリニスト・式町 水晶さんを任命



2026 令和8年

4月1日

県立福祉機構の設立

「当事者目線の障害福祉」の具現化を目指し、全国初となる福祉の地方独立行政法人を設立しました。

4月25日

県立相模原公園に誰もが遊べるインクルーシブな広場「ともいき広場」をオープン



県立福祉機構設立式典の様子



寝ころびながらでも乗れるブランコ

どなたでもご参加いただけます 津久井やまゆり園事件追悼行事

毎年7月に追悼式を実施しています。今年は次の取り組みを行います。

誓いの集い 要事前申込

「これからの当事者目線の障害福祉」をテーマに議論します。

日時 7月25日(土)15時30分～17時30分

場所 相模原市立あじさい会館(オンライン配信あり) JR相模原駅からバスで「市民会館前」下車

申込期間 7月6日(月)～7月15日(水)



津久井やまゆり園における献花・献灯

日時 7月26日(日)10時～18時(献花受付)

場所 津久井やまゆり園 鎮魂のモニュメント JR相模湖駅からバスで「津久井やまゆり園前」下車 ※駐車場あり

デジタル献花 オンラインでも献花することができます。

開催期間 7月17日(金)～8月31日(月)



広がる「ともいき」の輪

社会とつながる居場所を創造

認定NPO法人 横浜移動サービス協議会

「移動」を支えるさまざまな活動を行っています。



はっとり かずひろ 理事長 服部 一弘さん

「いつでも、誰でも、どこへでも」をモットーに、移動困難な人の外出をサポートします。障がいの有無や年齢、立場にかかわらず、誰もが地域の中で社会参加できる「ともに生きる場づくり」に取り組んでいます。



服部さん

笑いで心をつなぐ絵本出版

株式会社ラフコネクト

ともいきコンセプトブックの原案・作画を担当しています。



保科さん 親子

ほしな たかお 取締役社長 保科 琢音さん

絵本作家としてだけでなく、障がいのある娘の父親として、学校や施設、さまざまな団体や地域の仲間たちと共に歩んできた一人の人間として、憲章への思いを形にしました。「本当の意味でのみんな」を表現し、思いを巡らせる余白をつくりたいと考えました。この本がたくさんの「みんな」をつないでくれることを願っています。



「ともいき」を考える

絵本風 ともいきコンセプトブック

原案・保科 琢音 作画・稲葉 野々

県民約250人のアンケートをもとに、「ともいき」を考えるきっかけとなる絵本を作成し、県内小学校に約2万部配布しました。日常でよく使う「みんな」という言葉はだれかを問いかけるストーリーです。

絵本はこちらから読むことができます



vol.81 ともいきバトン

今月は、社会福祉法人かながわ共同会 津久井やまゆり園の皆さんに伺いました！

本人の望む暮らしの実現を目指して

事件の後、園の利用者の意思を尊重し、安心・安全に生活できる場を確保するため施設を建て替えました。現在、津久井やまゆり園には入所者58名が暮らしており、ボランティアの大学生と農作業を一緒に行ったり、地域の皆さんとお祭りなどで交流しています。障がいのある人への支援や理解につながる発信に積極的に取り組み、偏見や差別をなくし、誰もが暮らしやすい「ともに生きる社会」の実現を目指します。



ボランティアの大学生と農作業する様子

このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。

社会福祉法人かながわ共同会 津久井やまゆり園 についてはこちら



「真鶴の夏・貴船まつり」 写真:川崎市・村松 郁夫さん

7月に開催される貴船まつりでは、美しい風景の中で小早船が海に輝き、活気ある人々に心が躍ります。

- ▶場所:真鶴港(真鶴町)
- ▶撮影:令和7年7月

この夏は、7月24日・25日に開催されます。詳しくはHPをご覧ください。か、(一社)真鶴町観光協会 ☎0465(68)2543(9時30分~16時)へお問い合わせください。



編集/発行(毎月1日発行)
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県 政策局 知事室
☎045(210)1111(代表)
☎045(210)3662 045(210)8834

県公式X(旧Twitter)
@KanagawaPref_PR

※記事は6月15日時点の内容であり、変更になる場合があります

県立神奈川近代文学館
Kanagawa Museum of Modern Literature

生誕100年

かこさとし展

7月25日(土)~9月23日(水・祝)

- 開館時間 9時30分~17時(入館は16時30分まで)
- 休館日 月曜日(9月21日は開館)
- 料金 一般800円、65歳以上・20歳未満および学生400円、高校生100円、中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料
- 所在地 横浜市中区山手町110
- 交通 みなとみらい線 元町・中華街駅から徒歩10分
JR石川町駅から徒歩20分

詳しくはこちら



加古総合研究所提供

「かこさとし『だるまちゃんどてんぐちゃん』展」(神奈川近代文学館 2008年)描き下ろしポスター原画

Profile ◆加古里子(かこさとし)(1926~2018)

長く藤沢市に住み、県にもゆかりのある絵本作家。作品は『からすのパンやさん』や『だるまちゃん』シリーズ、『どろぼうがっこう』など600点余。

生きるということとは、

本当は、喜びです



本展では、絵本作家・かこさとしが描いた多様な世界を貴重な原画や資料を通じて振り返ります。戦時中、軍国主義に疑問を持たず、軍人になることを志していた経験から、子どもたちが自分と同じ過ちを繰り返さず、世界を正しく理解して「生きることをうんと喜んで」ほしいという、平和と子どもの幸せへの願いが込められた作品とメッセージをご覧ください。

【上記記事に関する問合せ】 県立神奈川近代文学館 ☎045(622)6666 045(623)4841

神奈川
県民限定

夏休みは、**やまなみ五湖**へ行こう!

水源地域体験交流ツアー

「やまなみ五湖」は、県中央部から北西部にある五つのダム湖(相模湖、奥相模湖、津久井湖、丹沢湖、宮ヶ瀬湖)の総称で、大切な水がめとして私たちの生活や産業の発展を支えています。そうした水源地域への理解を深める**日帰りバスツアー**を実施します!自然と水が育む恵みを感じてみませんか。

料金 大人**5,000円**(中学生以下は**無料**)

丹沢湖三保ダムの心臓部に潜入!!
一般非公開の**監査廊&操作室**をめぐる**プレミアムツアー**

- 日時 8月22日(土) 9時~19時
- 申込期限 7月30日(木)17時まで ●定員 40人

高低差156メートルの大パノラマ!!
宮ヶ瀬ダム・水が生み出すエネルギーと郷土の歩み

- 日時 8月30日(日) 9時~19時
- 申込期限 8月6日(木)17時まで ●定員 40人

ツアー内容

TANZAWAKO
川崎駅・横浜駅周辺→手打ちそば太平楽(昼食)
→丹沢湖記念館→プレミアムツアー(三保ダム見学)
→道の駅 山北→横浜駅・川崎駅周辺

ツアー内容

MIYAGASEKO
川崎駅・横浜駅周辺→宮ヶ瀬Resort旅館みはる(昼食)→愛川町郷土資料館
→ロードトレイン「愛ちゃん号」乗車→インクライン乗車(宮ヶ瀬ダム見学)
→宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館→鳥居原ふれあいの館→横浜駅・川崎駅周辺

ツアーに関する問合せ

株式会社エイチ・アイ・エス
水源地域体験交流ツアー実施事務局
☎050(1753)5244 受付時間 平日10時~17時

この他にも
ツアーを開催!
詳しくはこちら



水源地域ふるさと情報ポータルサイト

YAMANAMI LAKES

Camp, Fishing, Hike, Activity, Kids, Local foods, Superb view, Japanese history, and Relax.

神奈川 やまなみ五湖 navi

やまなみ五湖の
イベントなど
詳しくはこちら



【上記記事に関する問合せ】 県土地水資源対策課 ☎045(210)3123 045(210)8820